

令和3年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第10号（果樹）

令和4年3月11日発表（対象期間 令和4年3月11日～5月中旬）

●PC、スマホでアクセス



広島県 ひろしま病害虫情報

検索

掲載アドレス↓

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>



ホームページ  
リニューアル！



お問い合わせ先  
広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム  
〒739-0151 東広島市八本松町原6869  
電話：082-420-9662（直通）

※次回の予報発表は令和4年5月中旬ごろです。

↑ QRコードはこちら

| 1- (1) かんきつ病害虫の現況と予報（概要） |                 |     |                                                                                                                                                                              |
|--------------------------|-----------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 病害虫名                     | 現況              | 予報  | 防除上の注意事項                                                                                                                                                                     |
| そうか病                     | ウンシュウ：並         | 並   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 発生が確認された葉は、直ちに除去し、園外で処分する。</li><li>● 基幹防除を徹底する。</li></ul>                                                                            |
| かいよう病                    | ネーブル：並<br>レモン：並 | 並   | <ul style="list-style-type: none"><li>● レモン、ネーブル等かいよう病が発生しやすい品種では、新梢発芽前（3月）および新葉展開期（5月）に銅剤による防除を徹底する。発生園では4月にも銅剤による防除を行う。</li><li>● 発生源となる罹病葉、枝は速やかに除去し、圃場から持ち出す。</li></ul>  |
| ミカンハダニ                   | 並               | やや多 | <ul style="list-style-type: none"><li>● 冬季にマシン油乳剤散布を行っていないほ場では、必ず3月中の高度精製マシン油乳剤散布を行う。ただし、寒波等で樹勢が低下している場合は、散布により落葉する場合があるので注意する。</li></ul>                                    |
| ヤノネ<br>カイガラムシ            | 並               | 並   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 移動性が低く圃場の一部に集中して発生することが多いため、寄生部位を中心に周辺の枝葉果実の状況を確認し、見つけ次第捕殺する。</li><li>● 発生園で、冬季にマシン油乳剤の散布を行っていない場合は、必ず3月中に高度精製マシン油乳剤を散布する。</li></ul> |

※ほ場により、果実の取残りや寒波の影響により樹勢が低下している樹が見られました。3月の病害虫予防は非常に重要ですが、樹勢を確認して適切な管理を行いましょう。

【表の見方について】

「現況」「予報」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分は、原則として過去10年間の同時期の調査結果の数値を発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

「多」：1番目（最多年）と同程度以上  
「やや多」：2～3番目と同程度  
「並」：4～7番目と同程度  
「やや少」：8～9番目と同程度  
「少」：10番目（最少年）と同程度以下

| ②かいよう病                           | 現況                                                                                               | ネーブル：並<br>レモン：並 | 予報 | 並 |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----|---|
| 予報の根拠                            | ●巡回調査において、ネーブルおよびレモンでの発生は平年並みであった（±）。<br>●向こう1か月の気温は高い確率が60%（+），降水量および日照時間とも平年並みである確率が40%である（±）。 |                 |    |   |
| （+）：多発要因<br>（±）：平年並み<br>（-）：少発要因 |                                                                                                  |                 |    |   |



罹病葉

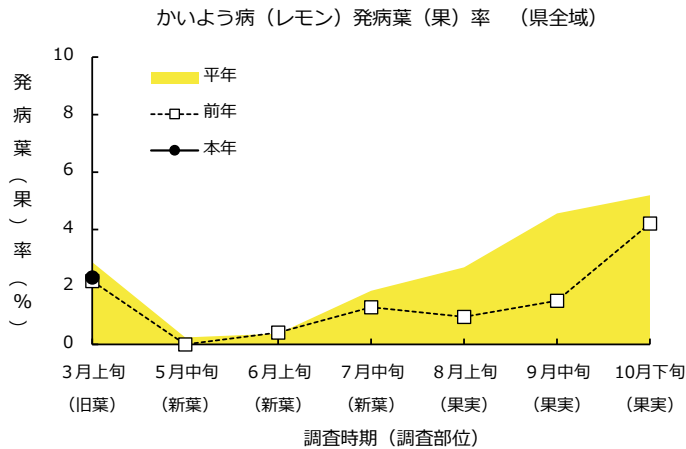
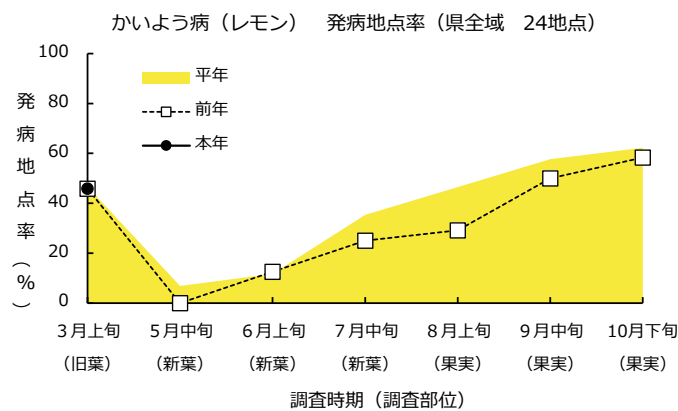
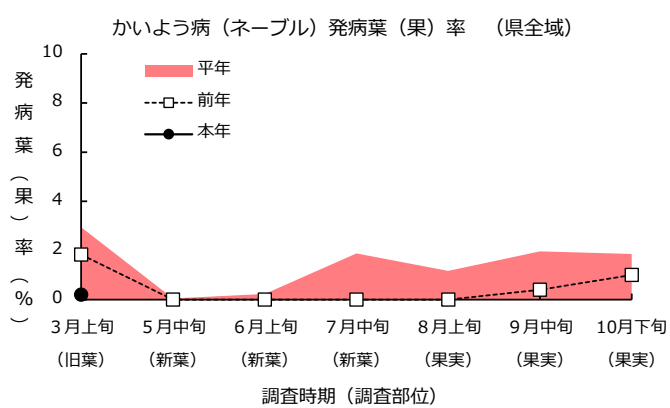
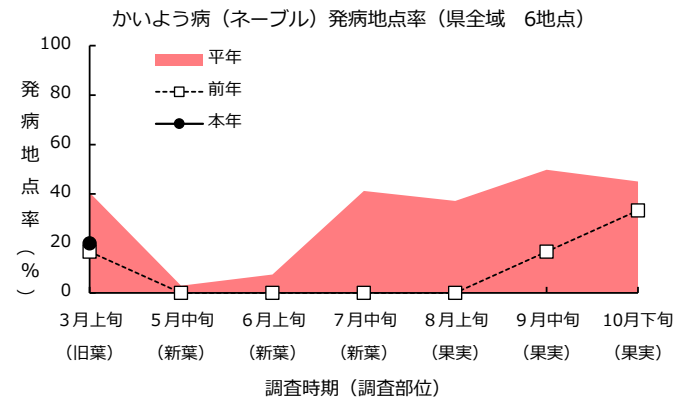


罹病果実

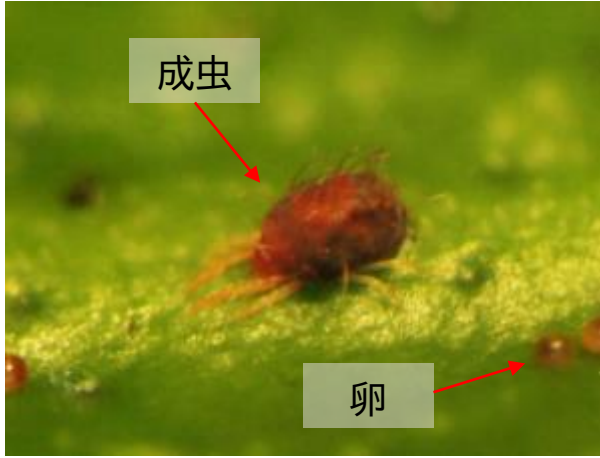
【防除上の注意事項】

- 前作の着果過多や寒波の影響により樹勢が著しく低下している場合は銅剤の散布を控える。
- 高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上あける。
- 罹病葉，罹病果実は早期に取除く。

【巡回調査データ】

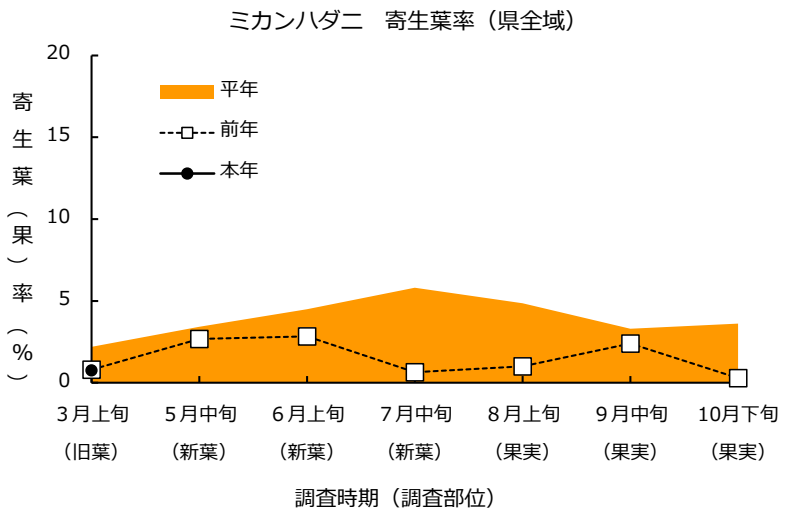
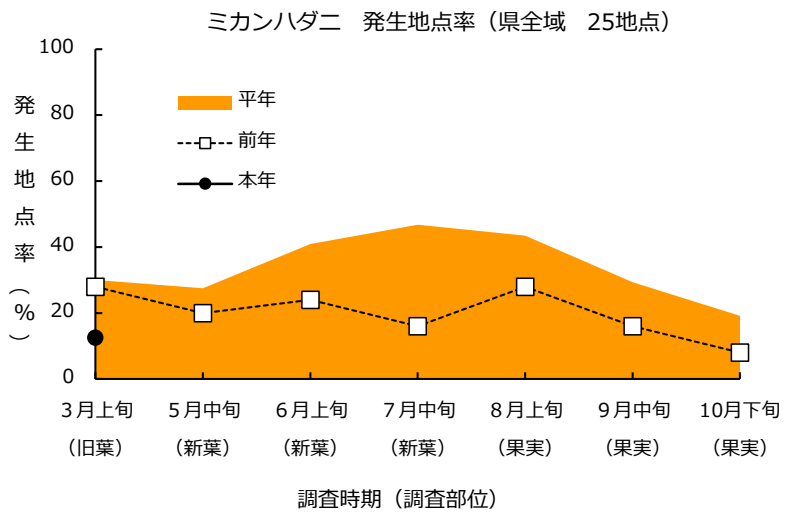


|          |                                                                                                                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 予報の根拠    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●巡回調査において、ミカンハダニの発生は平年並みであった（±）。</li> <li>●向こう1か月の気温は高い確率が60％（＋），降水量および日照時間とも平年並みである確率が40％である（±）。</li> </ul> |
| （＋）：多発要因 |                                                                                                                                                     |
| （±）：平年並み |                                                                                                                                                     |
| （－）：少発要因 |                                                                                                                                                     |



- 【防除上の注意事項】
- 前作の着果過多や寒波の影響により樹勢が著しく低下している場合はマシン油乳剤の散布を控える。

【巡回調査データ】



## ①果樹カメムシ類



A : チャバネアオカメムシ  
B : ツヤアオカメムシ  
C : クサギカメムシ

令和3年12月10日～令和4年1月5日に行ったチャバネアオカメムシの越冬量調査の結果、捕獲地点率が5.6%（図1）、1か所当たり虫数は0.06頭（図2）で、過去10年と比較してやや少ない越冬量でした。令和4年5月以降はフェロモントラップデータが[ひろしま病害虫情報](#)からアクセスできますので、防除対策の参考にしてください。

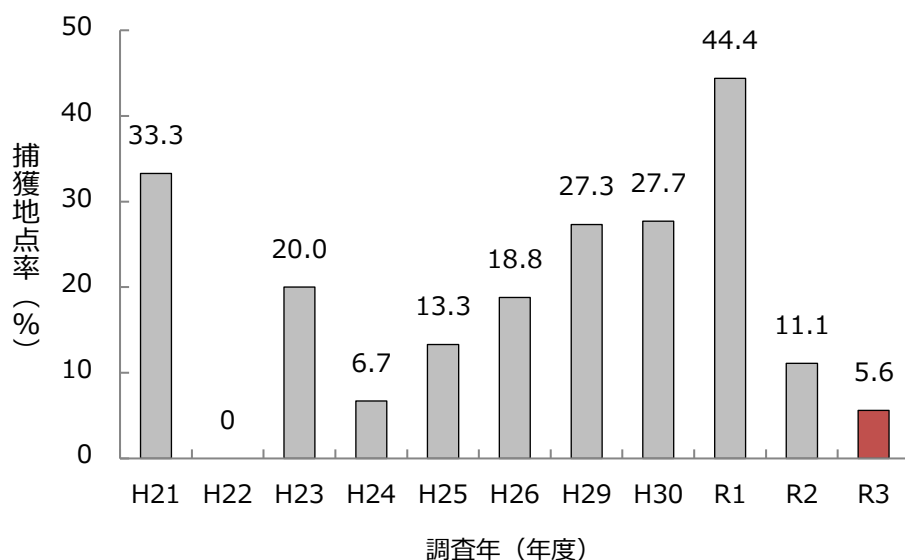


図1. チャバネアオカメムシの捕獲地点率  
※H27, H28は調査地点数が少ないためデータから除外した。

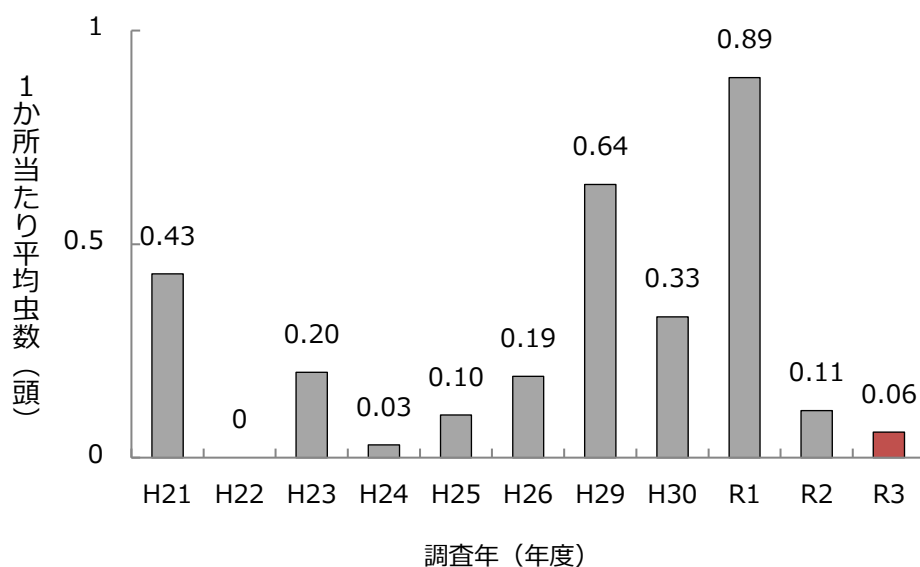


図2. チャバネアオカメムシの1か所当たり平均虫数  
※H27, H28は調査地点数が少ないためデータから除外した。



## ②モモヒメヨコバイ

令和3年10月広島県南部のモモで発生が確認されたモモヒメヨコバイ（10月13日に特殊報発表）は、2020年から2021年にかけて国内多数の地域で発生が確認されており、一気に蔓延している恐れがあります。モモ以外にも、ウメ、スモモ、ナシ、リンゴ、ポプラ等に寄生が報告されており、特に放任園や家庭菜園など防除が入りにくい園地中心に発生しています。寄生された葉は白くカスリ状になり、酷い場合は落葉します。詳しい生態はまだ不明ですが、越冬している可能性が高いので、気温が上がる春からの発生に注意してください。登録農薬はありませんが、慣行防除を行っている園地では発生は抑えられています。



図3. モモヒメヨコバイが寄生したモモ  
（令和3年10月撮影）



図4. モモヒメヨコバイの成虫

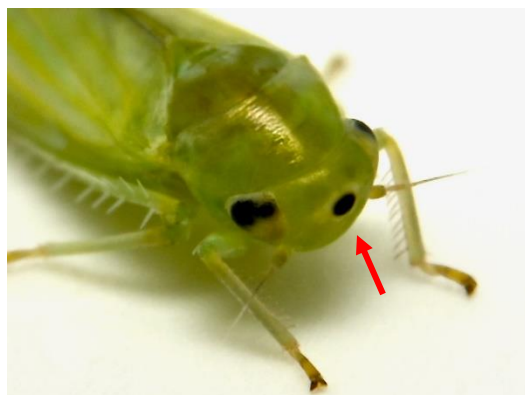


図5. モモヒメヨコバイの特徴である  
複眼の間の黒い点  
（農研機構植物防疫研究部門提供）

### 3

### 向こう1か月の気象情報

#### 【中国地方1か月予報】

（広島地方気象台3月10日発表、3月12日から4月11日までの天候見通し）

- ・天気は平年に比べて晴れの日が多いでしょう。期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。
- ・向こう1か月の平均気温は、高い確率が60%、降水量は、平年並みである確率が40%、日照時間は、平年並みである確率が40%です（図1）。
- ・週別の気温は、高い確率が1週目は80%、2週目は60%、3～4週目は40%（図2）です。

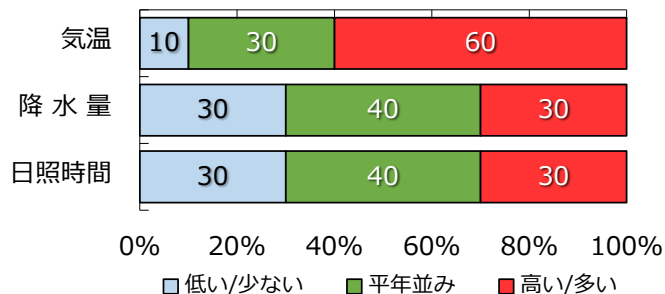


図1. 向こう1か月の平均気温・降水量  
・日照時間の各階級の確率（%）

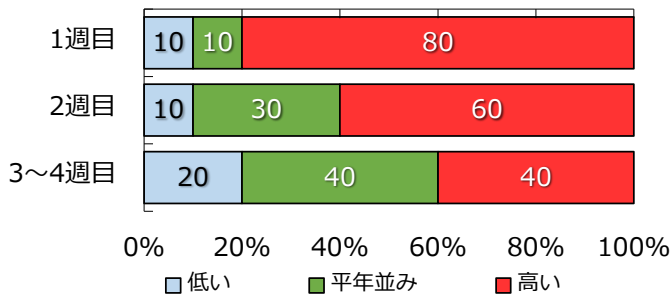


図2. 向こう1か月の気温経過の  
各階級の確率（%）